



ソフトテニス全国大会出場挨拶 8/10

全道大会で優勝し、山梨県甲府市で開かれる『全国中学校体育大会・ソフトテニス女子ダブルス個人戦』に出場を決めた静内第三中学校3年の鏡さやかさんと島尻楓さんペアが、役場静内庁舎を訪れ、酒井町長に健闘を誓いました。

酒井町長は「暑さに注意し、練習の成果を発揮してきて下さい」と激励。鏡さんは「悔いの残らない試合をしたい」、島尻さんは「二人で最高のプレーをしたい」と抱負を語りました。



白寿祝状授与 8/14

筒井ハツヲさん（三石稲見）が8月14日に白寿を迎え、川端町民福祉課長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

筒井さんは旧三石町出身で、昭和6年に故・筒井亘さんと結婚し、2男5女の子どもに恵まれました。現在、家の周りの草取りや散歩など行い、積極的に体を動かすことを楽しんでいます。

白寿祝いこの日、子や孫、ひ孫などがお祝いに駆けつけ、99歳の誕生日を祝福しました。



ソフトボール全道大会 8/4~5

『第21回全日本実年大会北海道予選会』が静内川左岸緑地公園ソフトボール球場で開かれ、地区予選を勝ち抜いた7チームが出場し、熱戦を繰り広げました。



第6回新ひだか夏まつり 7/27~8/15

『第6回新ひだか夏まつり』が7月27日に開幕し8月15日までの期間中、町内各地でさまざまなイベントが開かれ、多くの人々が夏のひとときを満喫しました。

28日の和太鼓フェスティバルと阿波踊りパレードでは、迫力ある演奏や踊りに会場から大きな歓声が上がリ、8月14日の静内川と15日の三石漁港花火大会では、浴衣姿の家族連れやお盆をふるさとで過ごした方が、夜空を彩る花火を楽しみました。



男の料理教室 8/3

65歳以上の男性を対象とした『男の料理教室』が静内保健福祉センターで開かれ、76歳~84歳の男性3名が参加し、鳥の鍋照りやみそ汁作りなどに挑戦しました。



わんぱくチャレンジスクール ふるさとの空 7/21

町教育委員会による『わんぱくチャレンジスクールふるさとの空』が三石歌笛の牧場で開かれ、町内の小学生10人が参加し、牛舎作業などに挑戦しました。

参加した子どもたちは、牛舎の掃除や餌やり、寝わら敷きなどの作業に挑戦したほか、乗馬や牛の搾乳も体験。そして、一日を通しての貴重な体験をそれぞれ絵具を使って色紙に描き、思い出深い夏の日を過ごしました。



チプサンケ 7/28

道アイヌ協会新ひだか支部（大川勝支部長）による舟下ろしの儀式『チプサンケ』が、静内川右岸緑地で行われ、昨年新造した丸木舟1隻を含めた3隻が川を下りました。

今年で4回目の開催となるチプサンケは、新造した「チプ」（丸木舟）を川へ下ろし、川の神に報告し、舟として新たな命を与える入魂のアイヌ民族伝統儀式。この日は、関係者ら約100人が参加し、丸木舟の試乗やアイヌ料理の試食会も行われました。



パークゴルフ大会 7/24

町老人クラブ連合会三石支部による『パークゴルフ大会』が三石蓬莱山公園パークゴルフ場で開かれ、63名が参加し、親睦と交流を図りながら、プレーを楽しみました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



社会を明るくする運動 7/6-30

静内地区保護司会静内分区及び三石分区などによる「社会を明るくする運動」の街頭啓発が行われ、沿道の住民に犯罪のない安心・安全な明るい地域づくりを呼びかけました。

ピュア前広場で行われた開会セレモニーで、静内農業高校農業クラブ会長・金世大さんは「地域の犯罪や非行の防止は、町民が意識して目を向けることが大切。安心・安全の住みよい町づくりを目指し、取り組んでいきたい」と決意表明しました。



少年・少女わんぱく教室 7/14

町教育委員会による『少年・少女わんぱく教室』が開かれ、町内の小学生8人が参加し、町公民館から御殿山公園までの往復コースで、サイクリングを楽しみました。